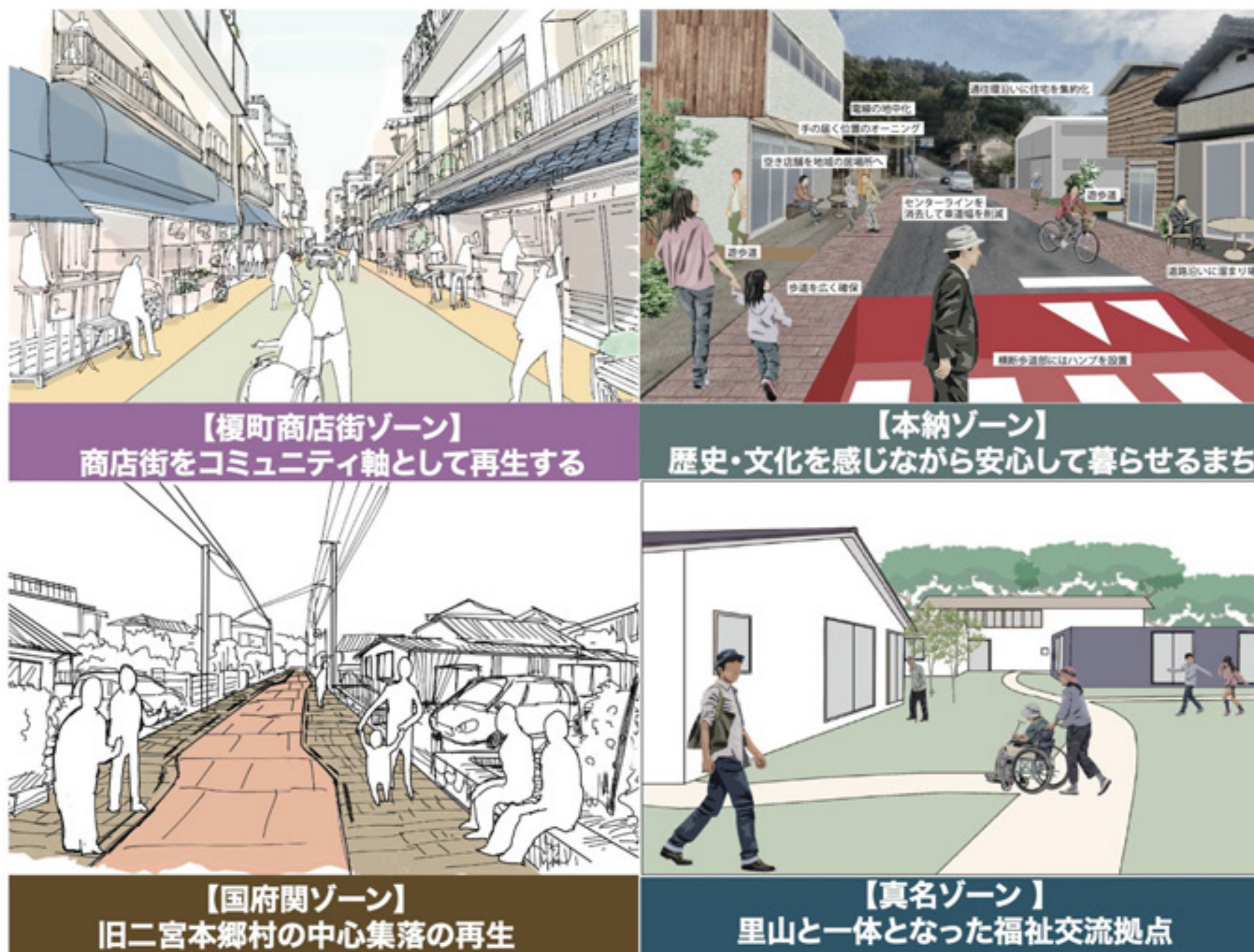


# 千葉大学工学部建築学コース3年生・大学院生による地元発表会 空き家活用と公共空間再編によるリノベーションまちづくりin千葉県茂原市



日時：2022年2月20日（日）午後1時～午後3時半  
会場：茂原市役所



# 千葉大学工学部建築学コース3年生・大学院生による地元展示会 空き家活用と公共空間再編によるリノベーションまちづくりin千葉県茂原市

## ごあいさつ

本展示会は、千葉大学工学部建築学コース3年生・大学院生の設計課題の作品を展示するものです。3年生後期の設計課題では、建築の設計能力だけでなく、地区・都市スケールの分析力・提案力を身につけてもらいたいとの思いから、2018年度から「都市デザインスタジオ」を開講しており、2019年度から大学院の「建築デザイン演習II」と連動させて、大学院生と学部生の協働により建築・地区スケールの計画・設計を継続しています。

今年度は茂原市役所から「茂原市空き家等活用による「まちの活性化」グランドデザイン」という研究を受託したことを受けて、前半（7月から9月）には7つの地区で空き家等の実態調査・空き家等に関する市民アンケート調査・行政支援による空き家等活用の事例調査等を実施しました。後半（10月から2月）には7つの地区の中から4地区（榎町商店街ゾーン・本納ゾーン・国府関ゾーン・真名ゾーン）に厳選し、茂原市役所の皆様、自治会長の皆様、空き家等のオーナーの皆様のご協力を得ながら、現地調査等を行った上で、地区の現状分析・地区の提案・建築の提案を15週かけて検討しました。

昭和初期に絵師の松井天山は千葉県内の29の都市鳥瞰図を描いていますが、茂原市では榎町商店街ゾーンを含む茂原駅周辺地区と本納ゾーンを描いています。これらの鳥瞰図を見ると、この2地区は100年前から都市的な活力を有していたことが分かります。また、国府関ゾーンは旧二宮本郷村の村役場が存在した中心集落であり、L字状の茂原街道沿いに建物が集まり、その背後に里山と豊田川が立地する背山臨水型の明解な都市構成を有しています。真名ゾーンには市営住宅がありましたが、近年、廃止され、今後の土地利用が不透明な状況にあります。これらの4つのゾーンはいずれも「場所の力」を有しており、学生達は「場所の力」を読み解きながら、未来の都市像を描きました。本展示会で、4つのゾーンの将来空間像を皆さんと共有し、これからの公民連携によるまちづくりに繋げていければと考えています。

最後に、ご協力頂いた多くの皆様に感謝申し上げます。

2022年3月1日

千葉大学 大学院 工学研究院 建築学コース 准教授 松浦 健治郎

# 千葉大学工学部建築学コース3年生・大学院生による地元展示会

# 空き家活用と公共空間再編による リノベーションまちづくり in 千葉県茂原市



## (1) 課題内容

本課題では、千葉県東部に位置する茂原市を対象とし、30年後を目処として、空き家活用や公共空間の再編によるリノベーションまちづくりの空間計画を構想するものである。建築の建て方のルール、オープンスペースの取り方やネットワーク、周辺市街地との関係を考慮した建築の提案を期待する。

なお、本課題では、以下の4つのゾーンに分ける。各ゾーンに大学院生を含めた3~4名のグループで取り組むこととする。

- 1) 榎町商店街ゾーン
  - 2) 本納ゾーン
  - 3) 真名(まんな)ゾーン
  - 4) 国府関(こうせき)ゾーン
- これらの4つのゾーン毎に以下の課題内容に取り組むこととする。

### 【都市・地区の分析編】

- 1) 歴史(地形図・空中写真)
  - 2) 地形(基礎地図)
  - 3) 建物用途別現況図
  - 4) 道路幅員状況図
  - 5) 空き家・空き店舗・空き地の現状分析
- ・空き家・空き店舗・空き地の現状を地図上にプロットする(空き家・空き店舗:松浦研究室が作成したカルテを参照可能。空き地:空き地以外の田畑・駐車場なども区別してプロットする)。
- 6) 公共施設の現状分析
  - 7) 歴史的建造物の収集
- ・対象地区内に点在する歴史的建造物を収集し、建築的特徴を整理する。
- 8) 地区全体の平面図を描画する(明治大神代研・法政大宮崎研「デザイン・サーヴェイ」彰国社を参照)。
  - 9) 人口変化
- ・対象地区内の年代別人口変化を調査し、人口ピラミッドで表現する。
- 10) まちの資源・問題点の整理
- ・以上を踏まえて、対象地区におけるまちの資源・問題点を整理する。
- ・以上の内容をA1版:3枚に分かりやすくまとめる。

### 【地区スケールの計画編】

- ・ゾーン毎に地区全体の将来像を検討する。
  - ・地区全体の将来像にふさわしい地区スケールの平面図を画化する。
  - ・交通計画(一方通行の提案、歩行者用駐車場・居住者用駐車場の集約化等)を画化する。
  - ・以上の内容をA1版:3枚にまとめる。
- ### 【建築スケールの設計編】
- ・地区全体の計画の中で、モデルとなり得る建築を選定し、設計する。
  - ・各ゾーンで1件以上は空き建物を選定することとする。
  - ・各建築につき、A1版:1枚にまとめる。

## (2) スケジュール

- 1) 10月5日(火) 出題・課題説明・スライドレクチャー(松浦)・グループ決定
- 2) 10月11日(月) 13時25分から18時:現地説明・現地調査
- 3) 10月19日(火) 都市の分析エスキスその1
- 4) 10月26日(火) 都市の分析エスキスその2
- 5) 11月2日(火) 都市の分析エスキスその3・地区スケールの計画エスキスその1
- 6) 11月9日(火) 都市の分析エスキスその4・地区スケールの計画エスキスその2
- 7) 11月16日(火) 中間発表会
- 8) 11月23日(火) 勤労感謝の日 現地調査
- 9) 11月30日(火) 地区スケールの計画エスキスその3
- 10) 12月7日(火) 地区スケールの計画エスキスその4
- 11) 12月14日(火) 地区スケールの計画エスキスその5・建築スケールの設計エスキスその1
- 12) 12月21日(火) 建築スケールの設計エスキスその2
- 13) 1月6日(火) 建築スケールの設計エスキスその3
- 14) 1月11日(火) 建築スケールの設計エスキスその4
- 15) 1月18日(月) 建築スケールの設計エスキスその5
- 16) 1月25日(火) 最終講評会
- 17) 2月20日(日) 地元発表会@茂原市役所
- 18) 3月1日~3日 地元展示会@茂原市役所

## (3) メンバー

### 榎町商店街チーム



鈴木万里奈 塩沢厚人 赤堀健 山中郁実

### 本納チーム



福谷慈乃 齋藤大地 誌島真矢 八塚玲奈

### 国府関チーム



川崎穂高 山下能瑠 松崎明日香

### 真名チーム



関根萌 新村心 幸地洗輝

### 指導



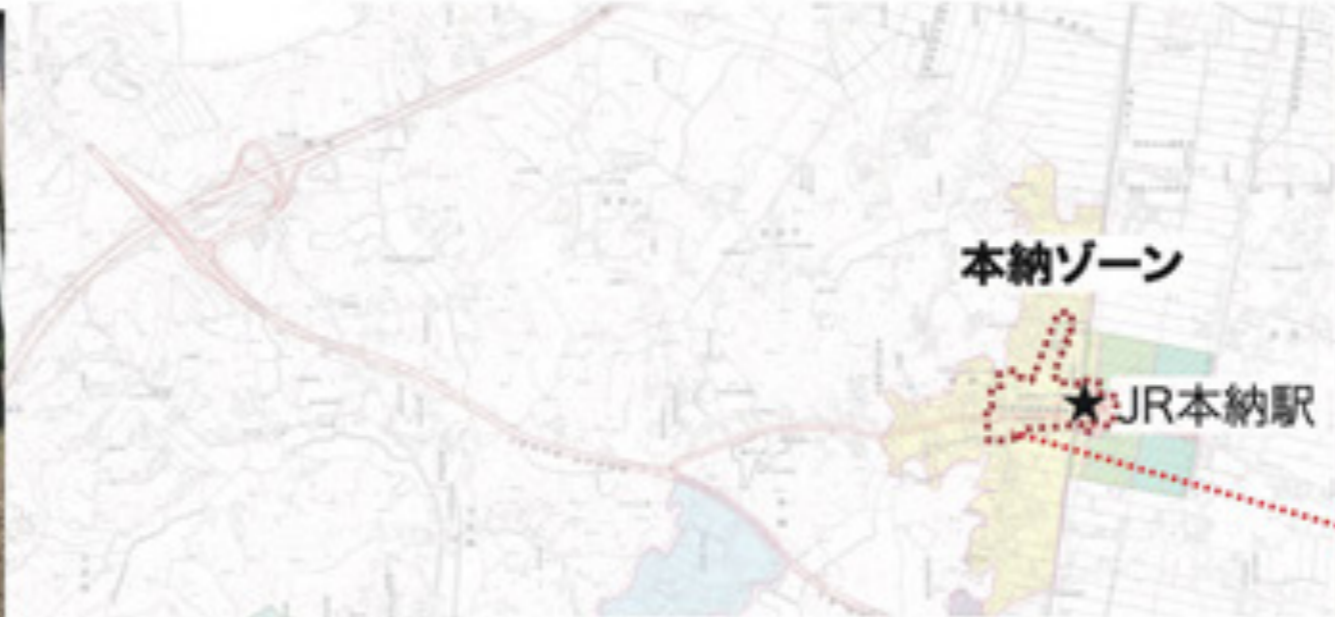
松浦健治郎





### 真名(まんな)ゾーン(7.5ha)

スマートインターチェンジ近くにある市営住宅地。市営住宅は廃止される予定であり、敷地南側のフラット住戸と北側の4階建て集合住宅に集約化されている。地区の将来像は未定である。



### 本納ゾーン(10.5ha)

1972年の市町村合併前の長生郡本納町の中心地区。県道226号線沿いには商店街が形成されていたが、現在では空き店舗が目立つ。すぐ近くには中世山城の遺構も存在する。



### 真名ゾーン

茂原長柄  
スマートIC  
★

### 国府関ゾーン



### 国府関(こうせき)ゾーン(8.3ha)

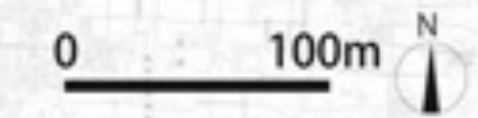
スマートインターチェンジ近くの、水田と山林に囲まれた田園地帯に位置する集落。地区内の茂原市立二宮小学校は2021年3月に閉校したが、跡地利用は未定のままである。



茂原市役所  
★

JR茂原駅  
★

### 榎町商店街ゾーン



### 榎町商店街ゾーン(7.2ha)

茂原市の中心商店街だが、近年は来街者数は減少し、空き店舗が増加している。1975年にアーケードが建設されたが、老朽化により2003年に撤去された。茂原七夕まつりの舞台でもある。

凡 例	
	第一種低層住居専用地域
	第一種中高層住居専用地域
	第二種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	第二種住居地域
	準住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
	工業地域
	無指定地
	防火地域
	準防火地域
	駐車場整備地区
	高度利用地区
	都市計画道路
	土地区画整理事業
	地区計画区域



# 計画対象地

